

## ◆災害備蓄品と非常用持出用品リスト

災害時に備えて、災害備蓄品と非常用持出用品をすぐに手に取れるように、ベッドの下などにひとまとめにして用意しておきましょう。必要な衛生材料等については、あなたの受け持ちの主治医又は看護師に確認してもらいましょう。

品目	チェック欄	品目	チェック欄
蘇生バッグ（アンビューバック）		外部バッテリー（充電済み） ※外部バッテリーは人工呼吸器に常に接続した状態にしておくものがあります。	
気管カニューレ			
予備（手動、携帯、足踏み式）吸引器		経管栄養剤（1週間分）	
予備の吸引チューブ（約10本）		服薬（1週間分）	
予備の人工呼吸器回路（1セット） 人工鼻			
衛生材料 ・ガーゼ ・滅菌グローブ ・蒸留水（2ℓ×約6本） ・消毒薬 ・スプレー式手指用消毒液 ・50ml注射器（約5本） ・オムツ等		その他	
非常用持出袋（すぐに手に取れるように、ベッドの下などにひとまとめにしておきましょう）			
❖ 懐中電灯 ・スリッパ ・ラジオ ・簡易トイレ ・飲料水 ・食料品 ・軍手 ・ティッシュペーパー ・ウェットティッシュ ・タオルなど			
❖ 健康保険証 ・医療券 ・障害者手帳 ・服薬手帳など			

### 停電時の問い合わせ：東京電力

#### ・東京カスタマーセンター（第1）0120-995-002

担当区：江東区、墨田区、江戸川区、葛飾区、台東区、荒川区、足立区、渋谷区、世田谷区、品川区、目黒区、大田区

#### ・東京カスタマーセンター（第2）0120-995-006

担当区：上記区以外の23区および島しょ地区

#### ・多摩カスタマーセンター 0120-995-662

担当区：多摩地区

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。

阪神・淡路大震災では被災直後は埃っぽく、マスク、目薬があると助かったという話もあります。



難病等で在宅人工呼吸器などを使用している方へ

# 災害時の手引

地震などの災害はある日突然やってきます。災害時に備えて、必要事項をこの手引に記入し、準備をしておきましょう。この手引は人工呼吸器の側に置き、避難時には持って行きましょう。

## ◆◆備えのポイント◆◆

- 蘇生バック（アンビューバック）はいつでも使える状態にしておきましょう。
  - ・緊急時にすぐに使えるように、使い方の確認、練習をしましょう。
  - ・複数の人が蘇生バックの操作をできるようにしましょう。
- 人工呼吸器や吸入・吸引器のバッテリーは常に充電しておき、緊急時に使用できる状態にしておきましょう。
  - ・外部バッテリーは使用しなくても2年程度で寿命がくるといわれています。定期的に新しいものと交換してください。
  - ・外部バッテリーの充電・接続方法については人工呼吸器取扱業者又は受け持ち看護師に相談しましょう。
- 吸引器は設置型の吸引器の他に、充電式の内部バッテリーで作動するポータブルあるいは足踏み式、手動式のいずれかの吸引器を準備しましょう。
  - ・吸引器のバッテリー持続時間（連続使用）を把握しておきましょう。  
概ね 分。
- 部屋の安全点検と対策を行いましょう。
  - ・ベッドの周囲には落ちてくると危険な物は置かないようにしましょう。
  - ・家具が倒れないように固定しましょう。
  - ・人工呼吸器、吸引器などが転倒ないように工夫しましょう。
  - ・懐中電灯などを入れた、非常用持出袋はすぐに手に取れるように、ベッドの下などにおきましょう。保険証、医療券、服薬手帳なども一緒にまとめておくとういでしょう。
- 災害時の避難場所、避難ルートについて確認しておきましょう。
- 緊急時の対応については、あなたの支援者（主治医、訪問看護師、保健師など）と日頃からよく相談しておきましょう。

### ◆療養者の基本情報

(ふりがな) 氏名	生年月日 ( 年 月 日 歳)
住所	電話
主な介護者氏名	携帯電話

### ◆緊急連絡先リスト

名称	続柄及び 担当者(職種)	電話 (携帯電話)	住所
家族・親戚・友人	①	( )	
	②	( )	
	③	( )	
	④	( )	
かかりつけ医			
専門病院			
訪問看護ステーション			
訪問看護ステーション			
人工呼吸器取扱業者			
在宅酸素取扱業者			
吸引・吸入器取扱業者			
保健所			
居宅介護支援事業者			
ヘルパーステーション			
民生委員			
避難所			
災害伝言ダイヤル(災害時の伝言サービス)		[171]	
東京都防災ホームページ(携帯電話専用)		<a href="http://www.bousai.metro.tokyo.jp/mobile/index.html">http://www.bousai.metro.tokyo.jp/mobile/index.html</a>	

※記入にあたってはあなたの受け持ちの主治医や看護師、保健師に相談しましょう。

### ◆療養者の身体・日常生活状況リスト

項目	状態	医療処置など
呼吸障害	なし・あり	方法: 気管切開による侵襲的陽圧呼吸療法(TPPV)・ 鼻マスク等による非侵襲的陽圧呼吸療法(NPPV)・在宅酸素療法 気管カニューレ: サイズ mm 製品名
吸引	なし・あり	吸引チューブ: サイズ Fr 吸引回数: 回/日 (うち夜間 回/日)
栄養	経口・経管等	方法: 経鼻・胃ろう・IVH・その他( ) 種類: 経管栄養摂取量: ml/日 水分のみの摂取量: ml/日
排泄	自立・ その他	排尿 方法: 膀胱カテーテル留置・自己導尿・他( ) 通常量: ml/日 排便 方法: 浣腸・他( ) 回数: 回/日
移動	自立・要介助	方法: スリッパ・車いす 注意事項:
コミュニケーション	会話・その他	方法: 筆談・文字盤・意思伝達装置・その他( ) 具体事項:
薬剤アレルギー	なし・あり	ありの場合薬剤名:

(情報記入日: 平成 年 月 日)

### ◆人工呼吸療法などの詳細(設定)

気管切開による侵襲的陽圧呼吸療法(TPPV)			鼻マスク等による非侵襲的陽圧呼吸療法(NPPV)		
記入日	年 月 日	年 月 日	記入日	年 月 日	年 月 日
種類・機種			種類・機種		
換気モード			換気モード		
1回換気量			I P A P		
換気回数			E P A P		
吸気時間			吸気時間(Ti)		
感度			B P M		
気道内圧 下限アラーム			ライズタイム		
気道内圧 上限アラーム			装着時間	24時間・夜間 その他( 時間)	24時間・夜間 その他( 時間)
PEEP圧			バッテリー持続時間 (内部+外部)		
ピーク圧(参考値)			在宅酸素療法		
装着時間	24時間・夜間 その他( 時間)	24時間・夜間 その他( 時間)	酸素流量	ml/分 時間	ml/分 時間
バッテリー持続時間 (内部+外部)					